

# 学生サッカー選手の Rondo 時の状況判断についての研究

中川 喬平 (競技スポーツ学科 コーチングコース)  
指導教員 北村 哲

キーワード Rondo, 状況判断, ジュニア期, スポーツビジョン

## I. 緒言

「Rondo」は、状況判断を伴ったパフォーマンスを向上するために非常に効果的なトレーニングである。状況判断能力にはスポーツビジョンが重要な要素の一つであるが、どの視機能がどの競技能力に影響を与えているのかについての検討は少ない。

そこで本研究は、スポーツビジョンと状況判断を伴ったパフォーマンスとの関係性について明らかにすることを目的とした。

## II. 研究方法

### 1. 対象

A 大学男子サッカー部 24 名を対象とした。

2. Rondo 時の状況判断を測定するためのパフォーマンステスト。

専門家とともにパフォーマンステスト評価項目を設定し測定した。

### 3. スポーツビジョン測定

(1) 動体視力, (2) 眼球運動, (3) 周辺視, (4) 瞬間視についてパソコンのソフトを用いて測定した。

### 4. 分析項目

1. チームレベルの上位群と中位群と下位群における状況判断を伴ったパフォーマンステスト各評価項目得点の比較。

2. 周辺視の上位群と下位群における状況判断を伴ったパフォーマンステスト各評価項目得点の比較。

## III. 結果

1. チームレベルの上位群と中位群と下位群における状況判断を伴ったパフォーマンステスト各評価項目得点では「a」「f」「h」におい

て上位群に有意な差が見られた ( $p < .05$ )。

2. 周辺視の上位群と下位群における状況判断を伴ったパフォーマンステスト各評価項目得点では「a」「f」「i」において上位群に有意な差が見られた ( $p < .05$ ) (図 1)。

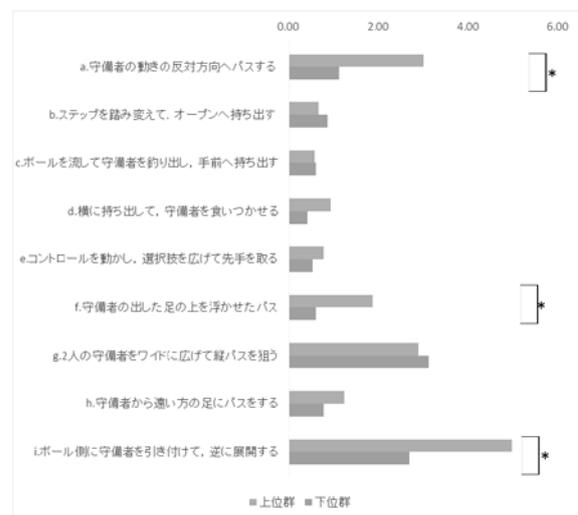


図 1 周辺視の上位群と下位群における状況判断を伴ったパフォーマンステスト各評価項目得点の比較

## IV. 考察

結果からチームレベルでの差は、守備者に対応して判断したパスでの能力差であることが伺える。また、状況判断には周辺視が一度に見なければいけない対象の範囲が広いという項目で影響を与えていることが明らかになった。

## V. まとめ

本研究の結果から、状況判断を伴ったパス局面においての向上には、周辺視の向上が重要であると考えられる。

## 引用・参考文献

山田庸 (2015) サッカー熟練者におけるボールポゼッション技能の自己評価。びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要, 第 13 号; pp:15-23.